

2022年8月4日

各 位

会 社 名 G M O T E C H 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 鈴 木 明 人
(コード：6026 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 染 谷 康 弘
(TEL：03-5489-6370)

特別損失及び法人税等調整額の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第2四半期連結決算におきまして、下記のとおり特別損失（固定資産に係る減損損失）を計上いたしました。

また、当該、特別損失及び最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月7日に公表いたしました2022年12月期通期連結業績予想数値に修正を行いましたので、あわせてお知らせいたします。この結果、前回発表予想を売上高、営業利益、経常利益については上回り、親会社株主に帰属する当期純利益は下回る事となります。

1. 特別損失及び法人税等調整額の計上について

当社は、2022年12月期第2四半期連結会計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）において、下記のとおり特別損失及び法人税等調整額の計上をいたしましたので、お知らせいたします。当社の連結子会社が展開する不動産テック事業においては、主に不動産管理会社様向けに、オーナー様、入居者様等とのコミュニケーションにまつわる業務を改善するためのツールの提供を目的に、開発・運用を行っております。

不動産テック事業について、事業成長性は見込まれているものの、外部環境として顧客の不動産テック商品の採用が当初の想定よりも遅れていることにともない、2022年12月期において、不動産テック事業の売上計画の見通しを下方に修正致しました。事業の見通しを変更したことに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結子会社が保有する不動産テック事業関連固定資産の帳簿価格を減額し、「減損損失」366百万円を特別損失に計上する事となったものであります。

また、当連結会計期間期首から新収益認識基準の採用等により、2022年12月期第2四半期連結決算において法人税等調整額23百万円（2022年12月期第2四半期連結会計期間累計57百万円）を計上いたしました。

2. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,200	百万円 △50	百万円 △50	百万円 △100	円 銭 △90.86
今回修正予想（B）	4,350	20	1	△450	△424.13
増減額（B－A）	+150	+70	+51	△350	△333.27
増減率（％）	+3.57	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2021年12月期）	4,256	△255	△258	△281	△265.38

修正の理由

2022年12月期の連結業績予想につきましては、集客支援事業においてアフィリエイトサービスの好調により大幅進捗をしております。

売上高においてはアフィリエイトサービスの金融系お客様及び海外ゲーム系お客様等の予算の追加及び、新規お客様開拓による広告費消が増加したものです。MEOサービスにおいても新規お客様獲得が順調に推移しております。また、利益面においても原価媒体費の抑制によるものが影響を及ぼしました。

不動産テック事業においては上記「1. 特別損失及び法人税等調整額の計上について」に記載のとおり収益見込み等を勘案した結果、特別損失（固定資産に係る減損損失）を計上いたしました。

以上の結果、前回発表予想を売上高、営業利益、経常利益については上回る結果となり、親会社株主に帰属する当期純利益は下回ることとなりました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、新型コロナウイルス感染症の終息状況等、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上